

平成22年7月8日

東京八王子プロバスクラブ 2010～2011年度 所信

会長 杉山 友一

POSITIVE AGING

「遊び心・学ぶ心・奉仕の心」で、クラブは今年も進化します。

● 遊び心は心のビタミン ● 学ぶ心は生き甲斐づくり ● 奉仕の心は思いやり

進化の方向

・より楽しそうな・より面白そうな・より為になりそうな、次なるステージの創造。

より為になるとは

・ 会員の為になる、・クラブの為になる、・社会の為になる、こと。

<年度の方針>

本年は、15年の節目として、伝統を踏まえながら、リストラクチャリング指向、進化の兆しが見える年として、次年度へ襷をつなぎたい。

- ①委員会活動では会員負担の軽減を図りながら、活性化、効率化を達成する方策の検討。
継続、現状維持して行く分野にも多少の改善改良を加え、進化の兆しを覗きたい、
- ②奉仕活動の年間バランス（前期、後期）を再考する。
「生涯学習サロン」プラスワンの奉仕活動として、子どもたちの未来のために尽くしたい。
プロジェクトチームを立ち上げて検討をお願いする。
- ③親睦活動を重視（親睦は奉仕の源泉）、そして全ての会員さんが「・できる時に・出来る範囲で・出来ることをする」、全員参加の体制作りに注力する。
- ④クラブ創立15周年記念事業、(10/17)を通じて、地域の中で確たる地位を確立する。
- ⑤当クラブの知名度の向上に併せて、他団体、他クラブとのパートナーシップへの展望。
- ⑥クラブが有する人財を生かした「プロバス出前講師派遣事業」構築の初年度としたい。
- ⑦日野プロバスクラブ設立支援（創立総会へのご理解を）
- ⑧内務の面で、ハッピーコイン制度の発展的運用。（善意の基金 塵も積もれば山）
- ⑨会員レベルの維持は崩さない、常に70名がターゲット（アクティブ会員65名の確保）
- ⑩「引きこもらない」、「ぼけない」、「世話にならない」、自律し、自立した高齢者は、プロバス三つのお願いです。プロバスは月毎のオリンピック、参加することに意義があります。